

特集

幸田ミュージカル

人自然交響楽

星の降るまち

幸田町町村合併50周年記念事業



<あらすじ>

望とひかるの兄妹は、最終電車で幸田に帰る途中、流れ星に飲み込まれ、チュンセ、ポウセと名乗る双子の星に出会います。彼らの目的は、天の王様に命ぜられた地球調査。その代わりとして、星の世界でたくさんの星たちと一緒に一晩中歌い踊る"星めぐり"をしてほしいと言うのです。それに協力するため、望とひかるは、チュンセ、ポウセと入れ替わり、星の世界へ向かいます。星の世界でのチュンセたちとの約束は三つ。一つ、星めぐりの時間には絶対遅れないこと。二つ、星めぐりを三回行うこと。そして三つ、二人が人間であることを星たちに決して知られないこと。

果たして、望とひかるは、約束を守れるのでしょうか。そして、二人は再び地上に、幸田に戻ることができるのでしょうか…。



「ミュージカルなら年齢や性別を問わずみんなのできるのではないか」という意見から、ミュージカルを行うことが決定しました。その後、平成15年11月に町民の中心としたミュージカルの台本制作委員会が発足し、会議の結果、今回の作品は宮沢賢治の「双子の星」をもとにして作るうということに決定しました。

幸田ミュージカル
がスタート



ステージを彩る 出演者たち

作品が決定したとはいえ、ミュージカル制作は簡単にはいきませんでした。一番の問題は出演者の演技です。

ミュージカルはオペラや楽器の演奏に比べれば取り組みやすいとはいえ、一度も経験したことがない人がすぐにできるものではありませんでした。そこで、オーディションに先がけて、ミュージカルスクールを開講しました。これは、歌、ダンス、演技、それぞれに専門の講師を招き、基礎を覚えるとともに、ミュージカ

ルの雰囲気慣れてもらうことが目的の講座でした。4月から6月までの基礎コース（一般の部10回、ジュニアの部6回）と7月から9月までのステップアップコース（一般の部10回、ジュニアの部8回）が行われ、延べ83人のかたの参加があり、数多くの人たちがこの講座を通してミュージカルというものを学ぶことができました。



そして、9月26日さくらホールにおいてミュージカルのオーディションが行われました。オーディション自体が初めてのかたが多く、緊張している様子が伝わってきました。また、審査委員のかたも真剣な眼差しでオーディション参加者を審査し、今回出演する63人が決定しました。



【演出家】

ほりくち ふみなり
 堀口 文成さん

1970年に舞台俳優としてデビューし、1972年には舞台監督、演出家となる。オペラ、ミュージカルなどの演出を手がける。主な演出作品「サウンド・オブ・ミュージック」「カレメン」など

今回のミュージカルは「人自然交響楽」と「星の降るまち」というタイトルのとおり、人と自然がお互いに響き合い、心の星を輝かせてこのまちに降らそうというコンセプトで作りました。

今回のミュージカルで注目してほしい点は、星の世界と海の世界という非日常的な世界を表現したものであるということです。そのため、舞台には人間以外の生き物が数多く登場します。そんな不思議な世界を皆さんに楽しんでいただけたらと思います。

ミュージカルは舞台に立つ役者、大道具や小道具、照明や音響などさまざまな人たちが一体となってできあがるものです。そして舞台の総仕上げは観ていただくお客さんがするものだと思っています。作品を見て、笑い、泣き、感動して拍手する。これがある初めて作品といえるものが完成します。

今回の作品を一人でも多くのかたに観ていただけたらと思います。



ミュージカルを支えるサポートスタッフ

また、役者とは別にサポートスタッフも募集しました。サポートスタッフの仕事は、美術、衣裳、広報などで、舞台に興味はあるという人たち向けのものです。幸田町文化振興協会が発行している隔月刊誌「ハピル」の7、9月号などで募集をし、スタッフが決定しました。

練習開始 しかし……

そして、10月17日に初顔合わせが行われ、稽古がスタートしました。わずか5か月という限られた時間の中で歌、ダンス、演技などを完璧に仕上げなければなりません。毎週、平日の夜はダンスや歌を中心に3時間、土日は全体練習を中心に6時間というきつい練習を続けました。

しかし、出演者のほとんどが学生のかたや仕事を持っているかたたちのため、平日はもちろん、土日も全員での練習は難しい状況でした。

みんなの協力で 完成した作品

現在も出演者の皆さんは忙しいなか貴重な時間をうまく使い、本番に向けて熱のこもった練習をしています。



また、サポートスタッフもがんばっており、美術、衣裳の準備も順調に進んでいます。また、それとは別に広報の活動としては、町民会館のホームページの中に「幸田ミュージカル 星の降るまち」のコーナーの作成、町民会館イベントニュース「はびる」の発行、ミュージカルのチラシ配布などを行い、多くの人が

今回は演じる人たちがアマチュアということもあり、みんなが入りやすい、覚えやすいような振り付けを考えました。

指導をしていて感じたのは、時間がないということですね。歌は上手下手があっても、歌ったことのない人はいないと思います。しかし、ダンスの場合はまったく経験がない人も多く、ゼロからのスタートとなり難しかったですね。そのため、事前にミュージカルスクールでダンスを練習したことはとてもよかったと思います。最近は日に日にうまくなるのを見ていると教えているこっちもうれしくなってきました。

ミュージカルは言葉で表現できないものを歌や踊りで表現します。今までの練習の成果を発揮して、本番の舞台で最高のものが出せたらと思います。そして、お客さんにはアマチュアでも頑張ればここまでことができるんだということが分かってもらえたら今回のミュージカルは大成功だと思いますよ。



【振付師】
しょうじ なおみ
庄司 直美さん

岡崎の「DANCE STUDIO NEO」を主宰し、ダンスの指導を行っている。過去には町民会館での公演経験もあり。



ちよつと休憩 ~break time~



おさだ
 長田ゆきみさん

長田：私が今回演じるのが小学校5年生の役。実際は高校2年なので、小5の子はどんな感じでどんな行動をするのかがよく分からないので難しいですね。

玉衛・小田・岡田・京極：こんな感じだよ～。

長田：今回の練習を通じ

ているんな年齢の人たちと友達になれたのがうれしい。

杉浦：感情で動かないといけない。でも舞台だからそれを大げさに表現しないと見ている人には分かってもらえない。

玉衛：練習がきつい。



すぎうら ゆき
 杉浦友紀さん

家に帰ったらバタンキュー。

京極：ほんと。練習時間が多くてほとんど自分の時間がない。

杉浦：確かに練習はきついし、休みがないけど、1度ダメ出しされたところを何度もやってOKが



たまえ あや
 玉衛彩さん



おだ みさき
 小田美咲さん

出るとうれしい。
 小田：ドキドキハラハラする場面がいっぱいあるので楽しんで観てほしい。
 長田：見に来てくれた人がすごいなあと思えるようなミュージカルを頑張って作りたい。

岡田：お客さんが満足できる作品になってほしい

です。
 杉浦：やる側もやって良かった、観る側も観てよかったと思えるような作品にしたい。それぞれがいろんな場所で頑張っているの、全部観てほしい。

京極：自分たちは悔



おかだ りさ
 岡田里沙さん

いのない演技をし、お客さんには観に来て良かったと思われるような作品にしたい。

玉衛：観ている人が楽しくなるような作品にしたい。

全員：ぜひ観に来てください。



きょうごく ちなみ
 京極千波さん



ちに今回のミュージカルを知ってもらうことができました。

今回のミュージカルはたくさんの人たちの協力のもとに出来上がった作品です。また、出演者やサポートスタッフなど、すべて町民のかたが行っています。
 この作品が持っているパワーを観ていただくとお客さんが感じ取っていただけたいと思います。
 問合せ 幸田町文化振興協会
 063 5181

舞台を裏で支える人たち



私たちは、本番に出演者たちが着る衣裳を制作しています。作業は毎週水曜日の午後7時から10時まで町民会館の楽屋を借りて行っています。人数は先生を含め13人で、現在の作業はまだ布の裁断のみで、難しいという印象はないですが、90着もの衣裳を作らなければならないので、これからは大変な作業が続くと思います。

今回衣裳作りでミュージカルに協力しようと思ったのは、よく演劇などを見るのですが、見るだけでなく

作るという形で参加したいという思いからでした。出演者の人たちが自分たちの作った服を着てどのようなミュージカルを作ってくれるのか、今から楽しみです。

今回のミュージカルでは手作りの良さを見てもらえたらうれしいですね。出演者だけでなく、衣裳や小道具などもすべて町民の共同作業により完成したミュージカルを見て、楽しんでいただきたいです。



オペラやミュージカルの経験はない人がほとんどでしたので、大きな声を出すこと、声で気持ちを伝えること、この2点を中心に指導を行っています。

みんな忙しいなか練習によく参加してくれて教える側としても、とてもやりやすいです。歌を歌っていて楽しいなという顔

をしている時を見るとこっちまでうれしくなっちゃいます。

町民の皆さんと一緒に作った作品で、こんなに素晴らしいものができるということを見てほしいですね。このミュージカルには夢があり、感動があります。それを観ていただくお客さんと一緒に共有できたらいいと思います。



【歌唱指導】

あまのくみ
 天野 久美さん

愛知県立芸術大学および大学院修了。第8回日本モーツァルト音楽コンクール入賞など数々の賞を受賞。オペラでは「フィガロの結婚」「カルメン」などに出演。

星の降るまち

人自然交響楽
幸田ミュージカル

	19日(土)	20日(日)	
開演時間	18:30	13:00	18:00

全席自由 一般2,500円 学生1,300円(当日500円増・税込)

前売券が完売の場合は当日券の販売はございません。

3歳以上のお子様は入場券をお求め下さい。

幸田町民会館チケットセンターにて好評発売中!!

主催・制作 / 幸田町文化振興協会 0564-63-5181

助成 / 芸術文化振興基金 宝くじ助成金

Staff

スタッフ

台本 / 幸田ミュージカル台本制作委員会
 作曲 / 遠藤 秀安
 演出 / 堀口 文成
 振付 / 庄司 直美
 美術 / MACK_M.SHAPER
 照明 / 福田 晴彦
 音響 / 仙頭 聡(若尾総合舞台)
 衣裳 / 坂 治栄
 メイク / 榊原 寿美
 大道具製作 / 伽藍堂
 舞台監督 / 福田 由佳
 演出助手 / 今井 智子・唐澤 佳子
 夏目 正樹・三浦 正義
 指揮 / 西野 淳
 歌唱指導 / 天野 久美・米丸 史朗
 演奏 / ハッピーネス・ヒル・オーケストラ

Support Staff

サポートスタッフ

石川 晴正 稲吉いづみ
 小林 礼子 柴田 勇二
 寺沢みゆき 山本 幸子
 野々山 耕 三木めぐみ
 松村 聡子 岡崎演劇鑑賞会一同

Script & Lyrics Project

台本・作詞制作委員会

今井 智子 伊澤美恵子
 唐澤 佳子 夏目 正樹
 三木めぐみ 三浦 正義
 堀口 文成

Cast

キャスト

望	石川 晴茄	花たち	
ひかる	梅澤 愛	安藤 もも	安藤 るる
チュンセ	杉浦 友紀(1幕)	伊藤 綾香	井ノ口真優
	山本由佳里(2幕)	今井 咲帆	岩本 真奈
パウセ	長田ゆきみ(1幕)	岩崎 るな	岩崎 るみ
	桑野 晴奈(2幕)	内田 実里	岡田 早世
よだか	鈴木 彰	杉浦 澄美	中山 清香
おきなぐさ	筒井 信子	南雲 真実	長谷川実希
青い花	島 和沙	伴 美沙	平野 美沙
大からす	三浦 正義	藤橋 令子	星野 渚
さそり	尾崎百合江	星野 光咲	本多 翼
稲妻	小野 公祐	本多 都	八木 菜摘
ほうき星	石川つや子	山本 静郁	和田 香
Dr.マンボウ	米丸 史朗		
ヒトデ母	天野 久美	ヒトデ	
ヒトデ子	内藤 淑乃	安藤 もも	安藤 るる
シャチ	神谷 雅良	伊藤 綾香	岩崎 るな
タッチウオ	本多 香	杉浦 澄美	星野 渚
ハゼ	志賀佐緒里	星野 光咲	本多 翼
タコ	筒井 信子		
サザエ	島 和沙	ベラ	
ウツボ	草次加代子	今井 咲帆	岩崎 るみ
シマダイ(1)	杉浦 恵子	岩本 真奈	岡田 早世
コチ	内藤扶美子	中山 清香	南雲 真実
カサゴ	岡田千代美	平野 美沙	山本 静郁
シマダイ(2)	原田紗央理		
長老	岩津 庸浩	鳥たち	
父	夏目 正樹	京極 千波	玉衛 彩
母	附柴 由美	石川友里愛	岡田 里紗
キャリアウーマン	本多 香	小田 美咲	
おじいさん	鈴木 彰		
おばあさん	筒井 信子	風たち	
男	三浦 正義	志賀佐緒里	杉浦 恵子
女	尾崎百合江	杉浦 緑	田實 玲子
		馬場 歩	原田紗央理
		本多 香	山田 寛子
魚たち		吉見佳奈子	
井ノ口真優	内田 実里		
尾崎百合江	小野 公祐	星たち	
志賀佐緒里	杉浦 恵子	井ノ口真優	内田 実里
杉浦 緑	鈴木 彰	志賀佐緒里	杉浦 恵子
田實 玲子	附柴 由美	杉浦 緑	田實 玲子
長谷川実希	馬場 歩	長谷川実希	原田紗央理
原田紗央理	伴 美沙	伴 美沙	藤橋 令子
平野 裕美	藤橋 令子	本多 都	山田 寛子
星野 智美	本多 都	八木 菜摘	和田 香
三浦 正義	八木 菜摘		
山田 寛子	吉見佳奈子		
和田 香			